

祝 辞

本日、ここ海上自衛隊 第1術科学校 大講堂において、第125期 幹部予定者課程の入校式が、厳粛に挙行されるに当たり、地元、江田島市民を代表して、お祝いの御挨拶を申し上げます。

幹部予定者課程に入校される皆様、本日は誠におめでとうございます。

皆様は、これまで部隊などにおいて、たくさんの訓練と経験を積み重ね、その実績が認められ、本日、晴れて幹部予定者課程に入校されたと伺っております。

そのような皆様をお迎えできることは、江田島市としても大きな喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

さて、本市は、海上自衛隊との共存共栄を掲げ、一体不可分の関係で、市政を推進しております。

昨年7月6日に発生した西日本豪雨災害では、被災直後から海上自衛隊の各部隊が連携し、本市への支援体制を整えていただきました。

被災者にこころよく自衛隊の施設を提供していただいたり、土砂に埋もれた家屋の土砂を撤去していただくなど、江田島市の復旧・復興に多大な御尽力を賜り、市民一同、自衛官の皆様お一人おひとりの温かく、頼もしい御支援に心から感謝しているところであります。

また、こうした国内での活躍はもとより、海外情勢に目を向けますと、本年6月にペルシャ湾のホルムズ海峡付近で、日本の民間企業が運航するタンカーが攻撃を受ける事件がありました。

皆様の中には、ソマリア沖・アデン湾において、海賊対処の任務に就かれ民間船舶の護衛活動を経験された方もいらっしゃるかもしれません。

さらに、先月から頻繁に、北朝鮮によるミサイル発射、ロシアや韓国軍による竹島領空侵犯、また、韓国の軍事協定破棄など、日本を取り巻く海外情勢は、常に予断を許さない状況にあり、我が国の安全保障において自衛隊の果たす役割はますます大きなものとなっております。

どうぞ、崇高な使命感を胸に、幹部自衛官として必要な、高い教養と技能、そして強い責任感と指導力を身に付け、卒業後には、その実力を存分に発揮されることを期待しております。

さて、ここで少し、江田島市のことを知っていただきたく、紹介させていただきます。

本市は、四季折々の美しい自然に囲まれた、瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な瀬戸の島でございます。幹部候補生学校の背後には、秀峰古鷹を望み、農業・漁業の盛んな町でございます。

特に、近年はオリーブの栽培に力を入れており、本年4月にイタリアのサンレモで開催された「マスターズ オリーブオイル インターナショナルコンテスト」において、その品質が認められ、2部門で、ヨーロッパ諸国を抑え、日本で初めて世界一の金賞を受賞いたしました。

また、広島の味覚「牡蠣」につきましても、10年ぶりに生産量が日本一となりました。是非、皆様には、厳しい訓練の合間には、江田島の牡蠣を味わいながら、仲間の皆様と江田島のお酒、同期の桜や島の香りを酌み交わすなど、親交を深めていただきたいと思います。

さらに、これから秋祭りやマラソンなどのスポーツイベントもでございます。積極的に御参加いただき、江田島の豊かな自然と人情に触れ、思い出深い学生生活を送っていただきたいと思います。

結びになります。日本国の繁栄、海上自衛隊の益々の御隆盛、御発展、そして御入校される皆様並びに、御臨席の全ての皆様の、御健勝と更なる御活躍を、心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和元年8月27日

江田島市長 あき おか しゅう さく
明 岳 周 作